

2020 年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人

マルイ・エンゲージメントキャピタル

1 事業実施の成果

2020 年度は近年誰もが経験した事のない新型コロナ禍での事業運営となりました。岡山、鳥取両県下においてもその影響は顕著で各種の制約は緩むどころか益々厳しくなる1年間でしたが、一方ではデジタル化、ネットワーク化が一気に加速した1年でもありました。WEB によるオンラインを通じて、今まで参加出来なかった他県の方々とのコミュニケーションが生まれ、各プロジェクトにおいて、地域団体、教育機関、行政やその他異業種間の新たな連携が始まり、地域住民だけでなく WEB を介した人が関心を持ち、参加していただく事が出来ました。12 期目の取組みの『寄附付き商品を活用した地域貢献事業』については益々浸透し、地域の教育機関においても無くてはならない事業として認知されています。

人・もの・情報の集積と SDGs 情報発信の場『Ziba Platform』を拠点に、地域の賑わいにつながる企画立案と運営、SDGs を学ぶきっかけとなる商品やサービスの提供、雇用創出・個人起業に対する支援を行う事が出来ました。

【2020 年度会員内訳】

正会員（団体）39 名、正会員（個人）29 名 合計 68 名
賛助会員（団体）22 名、賛助会員（個人）0 名 合計 22 名 総合計 90 名

【組織運営における重点項目】

- ① 財源の安定確保（2F シェアオフィス継続入居 R3/3 月～、1F ポップアップ入居 R3/4 月予定）
- ② 教育機関との連携強化（津山高専、薮木副校長）
- ③ 専従人材の育成（人材採用 R3/4 月）

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
次世代育成を目的とした各種体験事業	アグリツーリズム、中山間地域での体験事業イベント名 ① 親子大山こむぎ教室（オンライン） ② 珈琲教室（オンライン） ③ 親子酪農体験（オンライン）	①7/18 ②9/2 ③2/11	①米子市 ②米子市 ③大山町	6 名	46 名	153

多様な主体との協働事業およびまちづくり推進事業①	岡山・鳥取における、生産者と消費者をつなぐ食のイベントの開催（岡山、鳥取での広域フードイベントの開催）	鳥取マルコ マルチフードフェスタ	津山市 及び 鳥取市	新型コロナウイルス感染症影響の 為、両イベントとも開催を 見送りました。		
多様な主体との協働事業およびまちづくり推進事業②	教育機関（津山高専）との協力関係構築活動 ・卒業研究の共同実施 ・AI 寄付講座のコーディネート	2020年4月 ～ 2021年3月	津山市内	3名	10名程度	0
多様な主体との協働事業およびまちづくり推進事業③	生産者、地域団体および食品関連事業者との協働による寄附付商品の開発、販売を通じた地域貢献活動	2020年4月 ～ 2021年3月	岡山 鳥取	8名	30,000名	9,194
コミュニティデザイン推進事業①	共創プラットホームを拠点とした人材ネットワーク形成と交流の促進（タウンキッチンの企画運営、SDGs 食材の発信 ※津山市委託事業	2020年 4月～	津山市	3名	717名	222
コミュニティデザイン推進事業②	商品開発、セミナー、ワークショップ、フードイベントなど交流事業の実施及びSDGsの情報発信	2020年 5月～	津山市	3名	119名	110
コミュニティデザイン推進事業③	起業者支援、シェアオフィス・コワーキング・ライブラリー利用の促進	2020年 4月～	津山市	3名	848名	0

【次世代育成を目的とした各種体験事業】

中山間地域の自然豊かな環境のなかで、食を生み出す農業への関わりやさまざまな体験、交流を通じて、先人の知恵や伝統、地域の暮らしに思いを馳せ、次世代を担う子どもたちの自ら育つ心と地域への愛着心を育む取組を、本年度も実施した。コロナ禍で止むを得ず、従来の集合型体験活動は中止し、代わりにビデオ会議システム（ZOOM）を活用したオンライン体験型のあり方を探求し、新たな3事業の開催により、子どもたちの健やかな育ちを支援し、感謝の心と地域を支える農業・酪農への関心を高め、食環境の整備に繋がる機会を提供する事が出来ました。



ON LINE 親子大山こむぎ教室

ON LINE 親子酪農体験

ON LINE 親子珈琲教室

【多様な主体との協働事業およびまちづくり推進事業について】

① 『食でつなぐ ひと・まち・こころ』をテーマに、生産者と消費者、行政や教育機関などが一堂に会し、食の楽しさ、大切さを体感する交流の場として、岡山、鳥取にて広域フードイベントを例年通り実施すべく検討を重ねましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により止むを得ず両イベントとも中止しました。単に中止ではなく、形を変えての新たな体験の提案も視野に入れての最大限の検討を重ねました。次年度はワクチン接種等、感染の状況を判断しながら行政や関係機関との連携をとり開催に向けて再度計画いたします。



2019年度開催時の「フードフェスタ」津山 「マルコラ」鳥取 の様子

② 教育機関と連携し、若年層を対象とした地域貢献および次世代育成のより具体的な形として、津山高専と新たな試みを開始。企業から卒業研究のテーマを提供し、産学共同で単に卒業研究で終わらせるのではなく企業の課題解決にまでつなげる実践的な人材育成の場を提供する。企業と学生との定期的な交流により、地元企業や地域への関心を高めることで、学校教育だけにとどまらない、次世代を担う世代の資質向上、文化・社会構造を学ぶ場の提供が出来た。さらに、この取り組みをきっかけに、次年度から地域内での次世代 IT 人材育成による持続可能な地域人材開発を目論見、津山高専での地元企業からの寄付講座（AI プログラミング）の開講を決定する事が出来ました。



卒業研究発表をテーマ提供企業とオンラインで接続して発表する渡辺君（5年生）

生産性向上を目的とした
室内人数把握システムの作成

津山工業高等専門学校 数木研究室
渡辺 隆文



③ 寄附付商品の企画・販売を通じた地域貢献活動について

地域商材を活用した6次化商品、機能性に特化した商品などを地域特性に応じて寄附付商品と位置づけ、各地区単位で半年ごとの期間に実施。買い上げ1品につき3円を小学校への活動資金として助成する地域貢献事業に着手。第11期目となる今年度は、賛同者の増加により対象商品も拡大し、鳥取県においては、県および（公財）とっとり県民活動活性化センターとの連携により、地域団体との寄附付商品開発、PRなど、新たな広がりが実現した。次世代育成や地域の将来設計に対して、地域住民が無理なく取り組める地域貢献として来年度も継続して取り組んで参ります。



GIGAスクールに伴いVRゴーグルを津山市立東小学校へ寄附 鏡野町立香々美小学校贈呈式

＜寄附付き商品第1回～11回贈呈寄付金額（予定含む）千円 ※2021年3月31日現在＞

●米子市を中心とした鳥取西部地区/2015年4月1日～	寄附金額	7,640
●倉吉市を中心とした鳥取中部地区/2015年3月13日～	寄付金額	4,400
●鳥取市を中心とした鳥取東部地区/2015年4月1日～	寄付金額	19,560
●津山市を中心とした岡山県北部 /2015年5月1日～	寄付金額	28,800
●岡山市 /2015年6月1日～	寄付金額	1,500
寄附付き商品贈呈金額合計		53,900 千円

【コミュニティデザイン推進事業について】

地域社会と産業の活性につながる、人と情報の交流・企画・発信を目的とした『Ziba Platform』を拠点に、教育機関、地元企業、生産者、地域団体、行政など幅広い人的ネットワークの形成を促進。新型コロナウイルス拡大影響を受け、限定的な活動とはなったが、多様な産学官民の連携やコンテンツの企画立案、発信、サポートにより、魅力ある地域社会の形成に寄与する事が出来ました。

- ① テストキッチンやシェアオフィス、シェアスペースを内包する交流拠点としての活用をさらに進め、認知度、利活用の向上が図れた。2年間継続実施した「まち食」タウンキッチン事業に代わる事業として、サステイナブルな食材をテーマにした『Ziba サステイナブルカレー』の企画販売を実施。多様な人のネットワークや情報の集積により、地域に賑わいを創出するとともに、寄せられた知見等から、地域食材を活用した商品開発へ手ごたえを得る事が出来た。地域内外、社会人、学生を問わず誰もが気軽にSDGsを学べる、情報発信拠点としての地位を確立する事が出来ました。

・『Ziba サステイナブルカレー』サステイナブルラベル（有機JAS、レインフォレストアライアンス、フェアトレード等）を使った、「食べる事で気軽にSDGsに参加出来るカレー」は地元メディアにも3回取り上げていただき、年間通じてほぼ予約完売の人気商品。また、同時に開発したレインフォレストアライアンスの珈琲豆は地元焙煎所と提携しZibaオリジナルの珈琲豆を挽きたてで提供。カレー・珈琲ともサステイナブルラベル紹介の小リーフレットを添えています。

サステイナブルカレー 毎週水曜日実施 販売数：46回 473食 Ziba珈琲 244杯



- ② 多様な連携による人材ネットワーク形成、次世代育成支援として ZOOM を活用したオンライン形式の哲学カフェを、年間 6 回開催 合計 47 名参加（岡山県の枠を超えて全国から参加）



・周辺地域の活性化につながる近隣商店街と連携した取組み 年間 3 回実施 合計 72 名参加



クリスマスイベント

バレンタインイベント

山下 6 軒イベント

- ③ シェアスペース・ライブラリー・レンタルオフィス利用実績（商談・ミーティング・2F オフィス入居者） シェアスペース稼働率は前年の 30%→80%（過去最高）、ライブラリー利用は Facebook での定期的な本内容紹介で前年比 250%を達成。また、初のレンタルオフィス長期入居者獲得。

シェアスペース： 658 名 ライブラリー：176 名 レンタルオフィス入居：1 社（初入居）



【その他報告事項】

NPO 法人マルイ・エンゲージメントキャピタルのホームページの再整備を実施しました。NPO 法人の設立目的や目指す姿、活動内容などが誰からも分かり易く、共感をえる事が可能なホームページとして、一から製作し直しています。来年度の出来る限り早い段階での公開を目指しております。また、それに伴い NPO 法人の正式ロゴを規定させていただきました。



特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	9,036,091		
未収金	301,290		
前払費用	76,000		
流動資産合計		9,413,381	
2 固定資産			
建物	6,290,925		
建物付属設備	1,921,198		
差入保証金	150,000		
固定資産合計		8,362,123	
資産合計			17,775,504
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,351,686		
流動負債合計		1,351,686	
2 固定負債			
長期借入金	11,000,000		
固定負債合計		11,000,000	
負債合計			12,351,686
III.正味財産の部			
前期繰越正味財産額		1,027,775	
当期正味財産増減額		4,396,043	
正味財産合計			5,423,818
負債及び正味財産合計			17,775,504

特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル

活動計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	339,000		339,000
賛助会員受取会費	175,000		175,000
2.受取寄付金			
受取寄付金	4,500,000		4,500,000
3.受取助成金等			
受取補助金	850,000		850,000
4.事業収益			
寄付付商品開発事業	11,684,219		11,684,219
多様な主体との共同事業及び街づくり推進事業	44,500		44,500
コミュニティデザイン推進事業	307,000		307,000
5.その他収益			
受取利息	70		70
雑収益	1,900		1,900
経常収益計	17,901,689	0	17,901,689
II 経常費用			
1.事業費			
(1) その他経費			
仕入	206,639		206,639
諸謝金	90,000		90,000
旅費交通費	2,340		2,340
通信費	87,100		87,100
食材費	3,133		3,133
消耗品費	62,057		62,057
事務用品費	28,468		28,468
水道光熱費	340,328		340,328
地代家賃	891,000		891,000
賃借料	84,518		84,518
減価償却費	633,890		633,890
研修費	14,346		14,346
支払手数料	32,120		32,120
寄付金	9,193,934		9,193,934
雑費	110		110
その他経費計	11,669,983	0	11,669,983
事業費計	11,669,983	0	11,669,983
2.管理費			
(1) その他経費			
通信費	8		8
消耗品費	41,469		41,469
修繕費	42,900		42,900
賃借料	60,370		60,370
広告宣伝費	27,500		27,500
保険料	43,810		43,810
諸会費	17,500		17,500
事務用品費	26,874		26,874
租税公課	71,609		71,609
支払手数料	1,367,085		1,367,085
研修費	2,500		2,500
支払利息	110,000		110,000
雑費	24,038		24,038
その他経費計	1,835,663	0	1,835,663
管理費計	1,835,663	0	1,835,663
経常経費計	13,505,646	0	13,505,646
当期正味財産増減額	4,396,043	0	4,396,043
前期繰越正味財産額			1,027,775
次期繰越正味財産額			5,423,818